

# 令和5年 二十歳を祝う会

三つの軸を大事に



岡崎 愛斗さん

本日は、私たちのために盛大な式典を開催していただき、誠にありがとうございます。こうして、みなさんと今日という素晴らしい日を迎えることができ、とても嬉しく思います。齋町長様をはじめ、多数のご来賓の方々にご臨席いただき、お祝いと激励をいただきましたこと代表して心より御礼申し上げます。また、私たちが小さなころから、心温かく見守ってくださった大河原町の地域の方々、私たちを健やかに愛情深く、成長させてくださった先生方、本当にありがとうございます。そして、ここまでの二十年間、私たちが第一に考え、大切に育てて

くれた両親には感謝してもしきれません。今まで、支えてきてもらった分の恩返しができるよう、これらの人生で頑張っていきたいと思いますので応援のほど、よろしく願います。

改めて今日、式典を迎えられたことに嬉しい気持ちがある反面、これから先の将来を考えると不安な気持ちもあることが正直な感想です。昨年四月から成人の年齢が十八歳に引き下げられ、世界にあわせ、日本の社会でも成人を早く迎えられるようになりました。では、成人を迎えることとはどのようなことなのでしょう。一般的に成人することは『大人になること』と言われています。成人すると親の同意がなくても、自分のことを自分の意志で責任をもって決めることができるようになります。わたしは成人を迎えることは『大人になること』への一つの通過点に過ぎないと考えています。成人を迎えたから大人になった訳ではなく、成人を迎えるまえの年齢から、日々生活していく中で、経験と知識を少しずつ積みかさねながら大人へと成長する

ものだと思います。また、精神面でも今日という日から、大人としての自覚と責任をもつことが大切だと思います。

ここにいる仲間の中には就職し、社会にでて働いている人もいれば、進学をし、学業に取り組む人、早くに家庭を持つ人もおり、様々だと思います。そんな私たちに共通することはまだまだこれから先の人生が長くあることです。私は、この長い人生を生きていく中で大事にしたい軸があります。

一つ目は後悔をしないように行動することです。後悔をすると、あとで思い返してみても、あつたと思ってしまう、その機会はその時の一瞬でしかないものであるのだからです。ですから、後悔をすることがないように、一日一日を大切に過ごしていきたいと思えます。

二つ目は何事にも熱い気持ちを持って取り組むことです。大人になるにつれ、冷静に落ち着いて物事に取り組むことが普通になっていきます。ですが、熱中して取り組む

ことで、楽しさや嬉しさなどの感情を引き出せると思います。わたしは何事にも熱中して取り組む姿勢も大事にしていきたいと思えます。

三つ目は新しいことに挑戦することです。もし、やってみたいことがあるならやらない理由を考えるまえに怖がらず、とにかくやってみるべきだと思います。挑戦することで、人間は成長することができます。成長することで次の段階に進み、また新たに挑戦することもでき、より自分を高め、人生をよりよくしてくれると思います。まだこれらの軸を完璧に意識して生活できてはいませんが、今日から日々精進し、今後の人生を歩んでいきたいと思えます。

最後になりましたが、どうか今後とも、温かい目でご指導ご鞭撻をいただきますようお願い申し上げます。そして、本日お集まりいただきました皆様の一層のご健勝と、大河原町の限らない発展をお祈り申し上げます、代表の挨拶とさせていただきます。

本日は、私たちが二十歳という人生の大きな節目を迎えるにあたり、このような盛大な式典を開催していただき、誠にありがとうございます。また、齋町長様をはじめ、多数の御来賓の方々にご臨席いただき、お祝いや激励の言葉などをいただきました。代表して心より御礼申し上げます。

この二十年間、私たちは、様々な方々に支えられながら成長することができました。時にははぶつかりながらも一緒に歩んできた仲間たち、我が子のようにご指導くださった先生方、いつも近くで見守ってくださった地域の方々、たくさん愛情を注いでくれた親に感謝の気持ちでいっぱいです。この自然豊かな大河原町に生まれ、学びあった仲間と今日このような式典をともに迎えることができたこと、心から嬉しく思います。私たちは二十歳を迎え、既に職業に従事している者や学業に励んでいる者など、立場は



富田 菜月さん

様々ですが、一人一人が自分の行動に責任を持ち、社会の一員として常に向上心を持って精進する覚悟であります。

私は現在、大学で看護師を目指して学業に励んでいます。新型コロナウイルス感染症が流行する中、看護師を目指すことに不安を覚えることもあり。しかし、今私が抱えているように、感染症に限らず、病気やケガ、その他にも様々な状況で先の見えない不安を抱えている人、苦しんでいる人が多くいます。自分の不安や悩みを言葉にするのが苦手な人もいます。私も。自身もそうです。多くの方の気持ちに寄り添い、悩みや苦しみを軽減させるなど、何か少しでも力になりたいと思っています。そのような看護師になれるよう、これからも日々学び続け精進していきたいです。

この二十年間、多くの方に出会い、様々な経験をしてここまで来ましたが、辛いことや大変だと感じることも多かったかもしれません。自分自身の在り方や周囲との関わり方で悩むこともあり。近年では新型コロナウイルス感染症の影響で高校生最後の大会が中止になり、悔しき・行き場のない怒りを感じたりもしました。し

感謝の気持ちを忘れず、優しく、力強く

かし、そのような経験が知識・知恵、生きる力となり、今の自分があると思っています。

今後、社会の一員として責任ある行動をしながら進みます。二十歳という大きな節目を迎え、これから先どのような人生を歩み、社会に貢献していくべきかを真剣に考えていきたいと思えます。世の中には悲しいニュースも数多くありますが、悩み傷つきながらも一歩一歩前進し、希望に向かって歩んでいきます。

最後になりますが、新たな門出を迎えた今、改めて多くの方々への感謝の気持ちを忘れず、優しく、力強く生きていくことを誓います。どうか今後とも、温かいご指導ご鞭撻いただきますようお願い申し上げます。そして、本日お集まりいただきました皆様の一層のご健勝をお祈り申し上げます、代表の挨拶とさせていただきます。



1月8日、えずこホールで「令和5年二十歳を祝う会」が挙行されました。民法の改正で、昨年4月から成年年齢が18歳に引き下げられたことにより、「これまで「成人式」として親しまれた式典は、今年から「二十歳を祝う会」と名称を変えて従来どおり20歳のかたを対象に行われました。

この会では、成人としての意識をさらに高め、社会を築き背負っていく節目であることを参加者全員で確認します。その決意を、代表の2名が「二十歳に思つ」と題して発表しました。